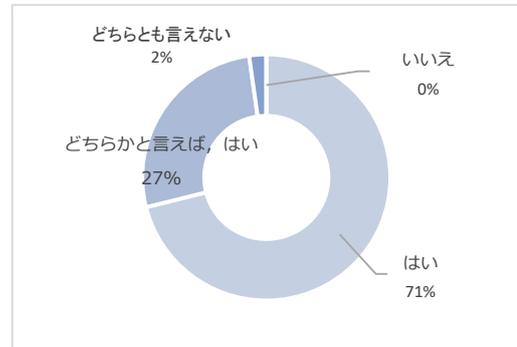


カラーユニバーサルデザイン (CUD) 手法セミナー
竹下友美氏による「推奨配色セットの活用法・新JIS安全色の活用法」
アンケート集計報告

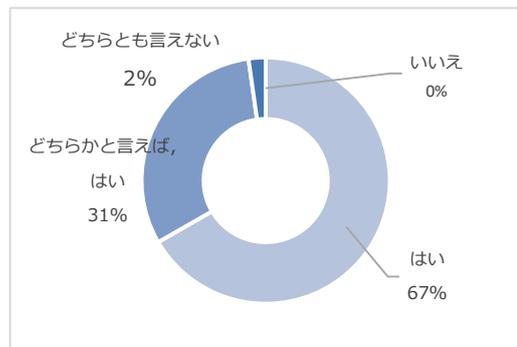
場所：ナディアパーク・デザインセンター4階 クリエイティブビジネススペース コード
 実施日：2018年 9月5日 (火) 18:00 ~ 20:30
 主催：クリエイティブビジネススペース コード / NPO人にやさしい色づかいをすすめる会
 参加人数：61人 アンケート回収：45人 (回収率 74%)

Q1. 本日のワークショップとセミナーはあなたにとって役に立つ、関心もてる内容でしたか。それぞれについてお答えください。(※該当する□にチェック✓を入れてください)

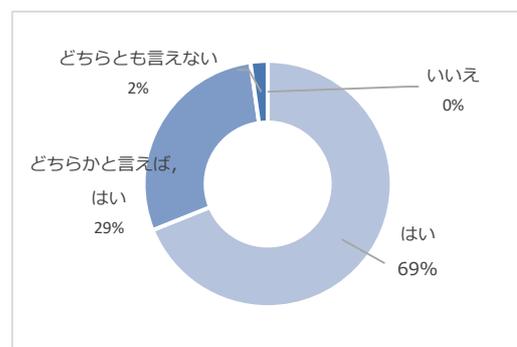
①カラーユニバーサルデザインの手法		Count	Rate
1	はい	32	71.1
2	どちらかと言えば、はい	12	26.7
3	どちらとも言えない	1	2.2
4	いいえ	0	0.0
合計(回答数)		45	



②「カラーユニバーサルデザイン推奨配色セットの活用法」		Count	Rate
1	はい	30	66.7
2	どちらかと言えば、はい	14	31.1
3	どちらとも言えない	1	2.2
4	いいえ	0	0.0
合計(回答数)		45	

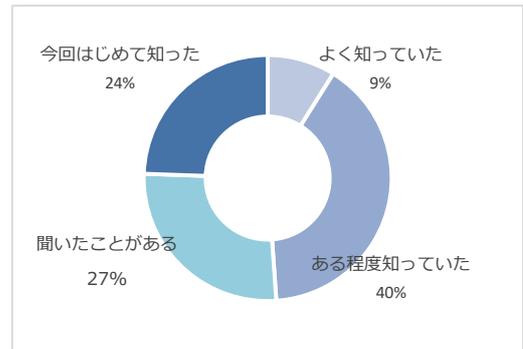


③「CUDの視点で改正された新JIS安全色(JIS Z9103:2018)の活用法」		Count	Rate
1	はい	31	68.9
2	どちらかと言えば、はい	13	28.9
3	どちらとも言えない	1	2.2
4	いいえ	0	0.0
合計(回答数)		45	



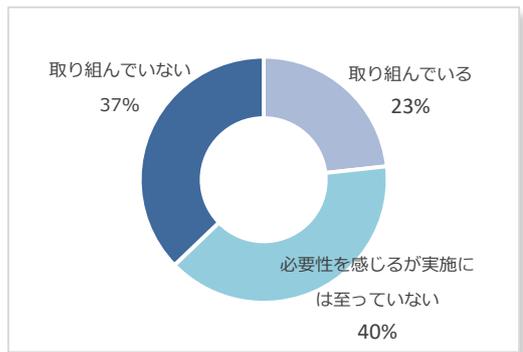
Q2. あなたはCUDについてご存じでしたか。

		Count	Rate
1	よく知っていた	4	8.9
2	ある程度知っていた	18	40.0
3	聞いたことがある	12	26.7
4	今回はじめて知った	11	24.4
	合計(回答数)	45	



Q3. あなたが所属されている組織で、CUDの取り組みはなされていますか。

		Count	Rate
1	取り組んでいる	10	23.3
2	必要性を感じるが実施には至っていない	17	39.5
3	取り組んでいない	16	37.2
	合計(回答数)	43	

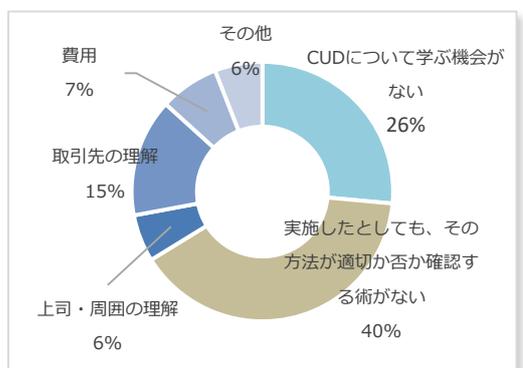


▼「取り組んでいる」の内容

- ・CSR報告書
- ・顧客からモニタ画面の配色について意見がある。
- ・バリエーションパンケキを購入し、自治体印刷物等のチェックに活用
- ・バリエーションを使用
- ・工場内でのサインの色等
- ・印刷製品の配色等

Q4. CUDの取り組みを実施する際に、ハードルとなっている（なりそうな）ことは何だと思えますか（複数選択可）。

		Count	Rate
1	CUDについて学ぶ機会がない	18	26.5
2	実施したとしても、その方法が適切か否か確認する術がない	27	39.7
3	上司・周囲の理解	4	5.9
4	取引先の理解	10	14.7
5	費用	5	7.4
6	その他	4	5.9
	合計(回答数)	68	

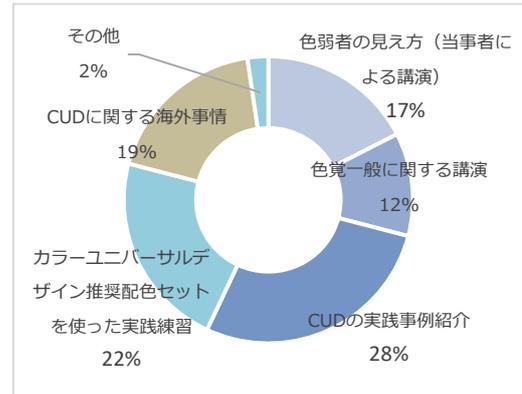


▼「その他」の内容

- ・デザイン性とのバランス
- ・デザイン性
- ・社会全体としての意識、周知が重要
- ・必ずしもいいデザインとなるかは疑問です。雰囲気と合うかブランドと合うか・・・。

Q5. 今後、CUDに関するワークショップとセミナーで取り上げてほしい内容はどれですか（複数選択可）。

		Count	Rate
1	色弱者の見え方(当事者による講演)	15	17.4
2	色覚一般に関する講演	10	11.6
3	CUDの実践事例紹介	24	27.9
4	カラーユニバーサルデザイン推奨配色セットを使った実践練習	19	22.1
5	CUDに関する海外事情	16	18.6
6	その他	2	2.3
	合計(回答数)	86	



▼「その他」の内容

- ・2020年オリ・パラへの対策
- ・CUDがもっと広まる様に、今日ほど専門的でない内容でカラーセミナーがあるとよいかも。

※「色弱者の見え方」と答えた方から、「困ること、まわりの対応」とのコメントがありました。

- Q1. 本日のワークショップとセミナーはあなたにとって役に立つ、関心もてる内容でしたか。それぞれについてお答えください。
④セミナーについて、ご意見・ご質問等を自由にお書きください。

- ・弊社は眼科医療機器メーカーですが、CUD に対する取り組みができておらず、今回参加させていただきました。個人的に勉強していたので、このようなセミナーに参加できて、とても勉強になりました。まだまだ社会の理解が少ないので、今後拡めていけたらと考えています。
- ・推奨配色と実例の写真がどれに当てはまるのか分からなかった。結びつけて教えてもらえると分かりやすいと思いました。
- ・もっと単純に考えていたが、人の多様性の中庸を行くために様々なご苦労の上にカラーユニバーサルデザインが作られているのがよくわかった。今後様々なタイミングで活用していきたい。
- ・良い時間帯のセミナーでした。机上の照明が暗いです。
- ・色弱者の見え方の違いについて勉強になりました。見分けのつきにくい色の配色について、あらためて考えさせられました。
- ・印刷、塗装の CUD はどのくらいの照度を条件に考えているのでしょうか。
- ・とても勉強になりました。思っていた以上に色々な場面で配慮しないといけないと思いました。特に色々な情報を提供する自治体職員が学ぶ機会があるとよいと思います。
- ・多くの方を想定した時に、どんな方にとっても見分けができるカラーデザインを意識しようと思いました。デザイン、意匠よりも配慮すべき事があるのを学ぶ事が出来、良かったです。
- ・内容盛りだくさんでたくさんのお話を教えて頂きましたが、少し口調が早すぎました。
- ・講演情報が多過ぎて理解することがむずかしい。現状の実際に施した物との比較とかがあると良いかと。
- ・警報発令時といった具体例やサーモグラフィーのような色の見え方のデータがとてもわかりやすく関心もてました。
- ・パッケージデザインに従事しておりますので、伝えなければいけない情報の識別や、特に高齢者に対するカラーユニバーサルデザインは興味深く拝聴させていただきました。ありがとうございました。
- ・社会人だけでなく、大学生など学生のころから親しみがあればよかったと思いました。幅広い理解が必要な分野だと思います。
- ・話は少しはやかかった。わかりづらかった。
- ・一般色覚の中でも色の見え方が違うことは驚いた。気象庁の事例はとてもわかりやすく良かった。CUD がもっと広まってデザイナーさんたちが色の調整をしてみんなにやさしい世の中になってほしい。色の調節や個人差などとてもまのかかる作業が必要になることがよくわかりました。これからもよろしくおねがいします。
- ・知らない事も多く、たいへん有意義な内容でした。今後の業務に活かしていきたいと思います。
- ・塗装色、RGB、CMYK の標準化の理解が出来た。新 JIS が再確認できた。
- ・ボリューム満載の内容を短時間で紹介、有難うございました。推奨配色が広まることを期待しています。
- ・色の選定方法や用途などを詳しく聞けてよかったです。
- ・音が聞き取りにくかった（環境の影響有）。
- ・色彩検定 2 級試験を受験したり教えたりしている事でカラーユニバーサルデザインという言葉は知っている（インテリアデザインを職業にしているの、という事もある）。だが今日の様な内容のセミナーはないので（少ない？）思うほど広がっていない様に思う。セミナー時間 90 分が望ましい。